

1. Course Description

本講義では、外科学1(外科学概論)で学んだ事項を基に、各臓器別に、主要な疾患の診断法、及び、外科的治療法について体系的に解説します。きちんと理解するためには、外科学1に加え、解剖学、生理学、臨床医学1および2の知識が相当に必要とされると考えて下さい。なお、この授業では、医療技術学部ディプロマポリシーのDP2、DP3と、柔道整復学校ディプロマポリシーのDP1、DP4に関する知識、態度を修得します。

2. Course Objectives

- 1.臓器別に、主要な疾患の診断法、及び外科的治療法について説明することができる。
- 2.特に、各種外傷への対応法および救命処置法については、初動をどうすべきか、具体的なイメージに基づいて説明することができる。
- 3.医師や看護師などの医療従事者と連携していける。

3. Grading Policy

定期試験(80%)及び中間テスト(20%)の結果により評価します。形式は、柔道整復師国家試験に準じます。試験問題に対する解説をLMSに掲載しますので、各自確認してください。

4. Textbook and Reference

Textbook

- (1) 全国柔道整復学校協会監修、外科学概論(改定第4版)
- (2) その他、毎回講義資料を配布するとともに、LMSを適宜利用して情報の伝達・共有を図ります。

5. Requirements(Assignments)

柔道整復師は“運動器の急性損傷”の専門家ですが、例えばスポーツ外傷の現場で、都合良く鎖骨や肩関節だけの損傷が起る訳ではありません。柔道整復師は、高校総体の救護なども依頼されます。将来、そうした場においても動じない態度を示せる様、運動器以外の臓器の損傷や、救命処置法についても幅広く学んで下さい。なお、授業時の質問に対してグループディスカッションして答えてもらいます。

6. Note

7. Schedule

- [1] 胸壁・呼吸器疾患1(胸郭、肺の検査法、手術について学びます)
- [2] 胸壁・呼吸器疾患2(肺癌などの肺疾患について学びます)
- [3] 胸壁・呼吸器疾患3(気胸などの胸膜疾患、胸部損傷について学びます)
- [4] 腹部外科疾患1(腹部外科疾患の主な症状、検査法について学びます)
- [5] 腹部外科疾患2(食道、胃十二指腸、大腸の疾患について学びます)
- [6] 腹部外科疾患3(肝・胆・膵疾患、急性虫垂炎、腸閉塞について学びます)
- [7] 脳神経外科疾患1(脳・神経疾患の主要徴候・病態および画像検査について学びます)
- [8] 脳神経外科疾患2 (頭部外傷について学びます)
- [9] 脳神経外科疾患3(脳血管障害、脳腫瘍について学びます)
- [10] 中間テスト
- [11] 乳腺疾患(乳腺症、乳癌について学びます)
- [12] 心臓・脈管疾患1(先天性心疾患について学びます)
- [13] 心臓・脈管疾患2(弁膜症、心筋症、虚血性心疾患について学びます)
- [14] 心臓・脈管疾患3(動脈、静脈の疾患について学びます)
- [15] 甲状腺・頸部疾患(甲状腺腫瘍等の疾患について学びます)